

健康社会研究センター ニュースレター 第16号

2011.09.02 発行

◆ 目次 ◆

- 1 最近のプレスリリース
- 2 主な研究成果発表
- 3 受賞のお知らせ
- 4 採択のお知らせ
- 5 学会・シンポジウム・研究会等のお知らせ
- 6 その他お知らせ

1 最近のプレスリリース

公園の近くに住む人は約 1.2 倍頻繁に運動する (2011 年 8 月 31 日)

2003 年に愛知県在住の高齢者 9,414 人を調べたところ、余暇における運動頻度には、住んでいる地域の環境が関係していることが分かった。自宅周辺 (1km 以内) に公園がある人は、無い人に比べて 1.15~1.26 倍運動の頻度が高い傾向がみられた。同様に、人口や商店などが多い地域でも運動頻度は高く、逆に行き止まりが多く地形の勾配が急な地域では低い傾向がみられた。運動が健康によいことはよく知られており、運動しやすい環境整備の重要性が示された。

<詳細はこちら→[埴淵知哉：公園の近くに住む人は約 1.2 倍頻繁に運動する](#)>

2 主な研究成果発表

<論文>

- ① Hanibuchi T, Aida J, Nakade M, Hirai H, Kondo K: Geographical accessibility to dental care in the Japanese elderly. *Community Dental Health* 28(2): 128-135, 2011
- ② 村田千代栄, 近藤克則: 健康の社会的決定要因 (14) 「医療アクセスと健康格差」. *日本公衆衛生雑誌* 58 (6) : 463-467, 2011.6
- ③ 林尊弘, 近藤克則: 特集 介護予防を地域づくり・まちづくりの視点で なぜまちづくりによる介護予防なのか. *保健師ジャーナル* 67 (8) : 21-26, 2011

<学会発表>

- ① Hanibuchi T, Nakaya T, Kondo K, Shirai K, Hirai H, Kawachi I: Exploring Neighborhood Determinants of Social Capital. 14th International Medical Geography Symposium (IMGS), July 15 2011, Department of Geography, Durham University, Durham, UK.
- ② Hisashi Imai: Physical and mental health, social relationships, social capital, and happiness among Japanese older adults. IEA World Congress of Epidemiology 7th August 2011. Edinburgh International Conference Centre, Edinburgh, Scotland.
- ③ Katsunori Kondo: Limitations of the "high-risk strategy" for long-term disability care prevention. IEA World Congress of Epidemiology 7th August 2011. Edinburgh International Conference Centre, Edinburgh, Scotland.
- ④ Miyo Nakade, Toshiyuki Ojima, Hiroshi Hirai, Jun Aida, Tomoya Hanibuchi, Katsunori Kondo: Relations between BMI and cause specific mortality in Japan: AGES cohort. IEA World Congress of Epidemiology

7th August 2011. Edinburgh International Conference Centre, Edinburgh, Scotland.

- ⑤ Hiroshi Hirai, Katsunori Kondo, Toshiyuki Ojima, Akira Hata: Are living arrangements a factor of Japanese longevity? IEA World Congress of Epidemiology 7th August 2011. Edinburgh International Conference Centre, Edinburgh, Scotland.
- ⑥ 尾島俊之, 村田千代栄, 平井 寛, 近藤克則, 西 晃弘, 白井こころ, 相田 潤, 近藤尚己: 高齢者の循環器疾患死亡における所得と喫煙の交互作用~AGES コホート~. 第 47 回日本循環器病予防学会, 2011. 6. 4, 福岡市
- ⑦ 近藤克則, 伊藤美智予: 要介護認定データを用いた特養におけるケアの質評価の試みー指標群の作成と内的信頼性の検討ー. 日本医療・病院管理学会誌: 181, 第 49 回日本医療・病院管理学会学術総会抄録集 (2011. 8. 21, 学術総合センター)
- ⑧ 三澤仁平, 近藤克則: 住みつけたいまちの条件. 日本医療・病院管理学会誌: 113, 第 49 回日本医療・病院管理学会学術総会抄録集 (2011. 8. 20, 学術総合センター)

<講演等>

- ① 近藤克則: 講演 2 多死の時代 高齢者のケア. ホスピスケアと在宅ケア 19 (2): 70-71, 日本ホスピス・在宅ケア研究会第 19 回沖縄大会抄録集
- ② 近藤克則: 全国と沖縄におけるソーシャル・キャピタル研究の可能性. 地域疫学国際ワークショップ~今帰仁フィールドワーク~, 2011. 7. 31, 沖縄
- ③ 近藤克則: 基調講演 人々のつながりと健康ーソーシャル・キャピタルの可能性. 第 7 回ヘルスリサーチワークショップ出会いと学び 2011 年 安心して, 前向きに生きられる社会の実現~「つながり」の可能性~ 記録集: 34-57, 2011. 7
- ④ 近藤克則: 健康の社会的決定要因と「健康格差社会」. シンポジウム「医療と貧困」. 第 28 回日本医学会総会 2011 東京 学術講演要旨: 301, 2011. 4. 8
※日本医学会総会は東日本大震災の影響により, 開催形式が変更されました.

<マスコミでのコメントなど>

- ① 歯を失うと認知症のリスクが最大 1.9 倍に「歯の状態と認知症発症との関連」2010 年度厚生労働科学研究. けあ・ふる vol. 68 (パラマウントベッド株式会社), 5, 2011. 7
- ② 近藤克則: もう一つの「なでしこジャパン」世界ーその理由は? 医事新報-プラタナス- (4554), 2011. 8. 6

3 受賞のお知らせ

<日本公衆衛生学会奨励賞を受賞>

平井寛: 高齢者の「閉じこもり」に関する実証研究と地域における予防に向けた実践

→第 70 回日本公衆衛生学会総会の特別プログラムにて奨励賞受賞講演を行います (10 月 20 日).

4 採択のお知らせ

<長寿科学振興財団・長寿科学総合研究推進事業 (国際共同研究) 枠に採択されました>

テーマ: 高齢者の身体心理社会的な健康関連指標の日瑞英比較研究

期 間: 平成 23 年 8 月 1 日~平成 24 年 3 月 31 日

研究代表者: 近藤克則

5 学会・シンポジウム・研究会等のお知らせ

- 1) [7th International Conference on Social Security](#) (第 7 回社会保障国際学術大会)

【日 時】2011 年 9 月 3 日 (土) ~4 日 (日)

【場 所】 グランドホテル釜山, 韓国

【テーマ】 “The Evolving Social Risks and the Proactive Social Security Strategy”

2) [運動疫学関連研究会のお知らせ](#)

①第 12 回運動疫学セミナー

【日 時】 2011 年 9 月 2 日 (金) ~4 日 (日)

【場 所】 ホテル・サンミ倶楽部 (熱海市)

②第 14 回運動疫学研究会学術集会

【日 時】 2011 年 9 月 15 日 (木) 13:00~17:00

【場 所】 海峡メッセ下関

3) 社会政策学会第 123 回大会「健康のための社会政策」

【日 時】 2011 年 10 月 8・9 日 (日)

【場 所】 京都大学

【講 演】 (9 日)

川上 博: 「過労死・過労自殺の現状分析と政策的対応」

松葉一葉: 「職場におけるメンタルヘルス問題の構造と政策的課題について」

近藤克則: 「健康格差問題と社会政策」

笹谷春美: 「ケアする人々の健康問題と社会的支援策」

プログラムはこちら→<http://www.soc.nii.ac.jp/sssp/123taikaiprogram.pdf>

4) [第 27 回日本ストレス学会学術総会](#)

「格差社会におけるストレスから分子生物学的ストレス研究まで」

【日 時】 2011 年 11 月 19 日 (土) 14:30-15:30

【場 所】 東京国際交流館プラザ平成

【後 援】 厚生労働省

講 演: 近藤克則「格差社会における健康とストレス—社会疫学の視点から」

5) [第 22 回日本疫学会学術総会](#)

【テーマ】 「社会のニーズに応える疫学」

【会 期】 2012 年 1 月 26 日 (木) ~28 日 (土)

【会 場】 学術総合センター・一橋記念講堂

【内 容】 パネルディスカッション「市民が求める疫学とは」(27 日)

シンポジウム 1 “Development of Clinical Epidemiology Network in East Asia” (28 日)

シンポジウム 2 「社会に貢献する疫学を目指して」(28 日)

6) 介護予防 WG (JAGES)・AGES 研究会今後の予定 ※変更になることがあります。

・ 9 月研究会

【日 時】 9 月 10 日 (土) 10:00~17:00

【場 所】 国立社会保障・人口問題研究所

・ 10 月研究会

【日 時】 10 月 30 日 (日) 10:30~17:00

【場 所】 日本福祉大学名古屋キャンパス 7B 会議室

・ 11 月研究会

- 【日 時】11月20日(日) 10:30~17:00
【場 所】日本福祉大学名古屋キャンパス
・12月(国際シンポジウム)
【日 時】12月23日(金・祝)
【場 所】アルカディア市ヶ谷

6 その他お知らせ(再掲)

World Conference on Social Determinants of Health. October19-21, 2011 (WHO)

(WHO: 健康の社会的決定要因に関する世界会議)

【場 所】Rio de Janeiro, Brazil

【日 程】2011年10月19-21日

※詳細はこちら→<http://www.who.int/sdhconference/en/>

<5つの主要テーマ>

1. governance to tackle the root causes of health inequities: implementing action on social determinants of health (健康格差の根本原因への対策を講じるための統治:「健康の社会的決定要因」に対する行動を起こす)
2. the role of the health sector, including public health programs, in reducing health inequities (健康格差抑制のための保健医療セクター(公衆衛生プログラムを含む)の役割)
3. promoting participation: community leadership for action on social determinants (参加の促進:社会的決定要因に対する行動のためのコミュニティのリーダーシップ)
4. global action on social determinants: aligning priorities and stakeholders (社会的決定要因に対する世界的な行動:優先度と利害関係者の調整)
5. monitoring progress: measurement and analysis to inform policies on social determinants (進捗状況のモニタリング:社会的決定要因対策への情報提供のための測定と分析)

<お知らせ(再)>

「健康社会研究センターのホームページの「リンク」のページ<http://cws.umin.jp/link.html>の中に、「健康の社会的決定要因や介護予防の関連論文」コーナーを作りました。リンクすべき論文などの書誌情報とURLをお知らせ下さい。

ニューズレター第16号の発行にご協力いただきましてありがとうございました。

今後とも当センターへのご支援をよろしくお願い申し上げます。

メーリングリストの配信の停止をご希望の方・ご意見・お問い合わせはこちら<k-manami@n-fukushi.ac.jp>までお知らせください(ご連絡の際は*を@に変更して下さい)。

ニューズレターのバックナンバーはこちら<[バックナンバー](#)>

発行元:健康社会研究センター <http://cws.umin.jp/>

(このメールは、国際シンポジウム「健康の社会的決定要因—社会疫学の可能性」(2009年3月14日開催)にてメール登録をご希望いただいた方及びメーリングリストweb登録をいただいた方に配信しています)
